

自己評価

教務部 教育目標	社会自立・職業自立に必要な知識・技能の習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育て、学力向上を推進する。	
評価する領域・分野	教育活動、学習指導、情報提供、家庭との連携、広報、地域社会との連携	
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間行事予定を早期に提示し、保護者や学校外に対しての情報提示や、保護者案内等を行ったが、学校評価アンケート結果の「家庭との連携7・9」の保護者への情報提供に関する項目では、「あてはまらない」の回答が20%近くあり、指導の内容、生徒の様子などをわかりやすく伝えることにおいてはまだ、不十分であった。</li> <li>「家庭との連携12」の保護者との懇談についての項目において、前年度は「あてはまらない」の回答が20%以上あったことから、回数や時間を増やした結果、ある程度改善したと考える。</li> </ul>	
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路希望や学習状況を踏まえ、一人一人の状況に応じたきめ細かな指導を充実するために、指導と評価の年間計画や個別の指導計画を作成、活用する。</li> <li>基礎的・基本的な学習内容の定着を図ると共に、社会生活で活用できる実践力の伸長を図るために実社会で応用できる教科指導を行う。</li> <li>総合産業科における専門性の高い職業教育を推進するため、企業や関係機関等との連携に基づく実践的な教育を推進する。</li> </ul>	
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導と評価の年間計画の作成・実践</li> <li>教科会の実施（一般教科・専門コース）</li> </ul>	
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒理解のための情報共有会議の実施</li> <li>学校教育目標の実現のために、何が必要かを共通理解するための教科会の実施</li> </ul>	
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>懇談結果や実習後の自己評価及び実習先評価</li> <li>生徒及び保護者を対象としたアンケートにおける回答</li> </ul>	
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程、年間計画、行事等の計画、実施</li> <li>教科書、補助教材の検討・教科会の実施</li> <li>学校要覧、学校紹介の作成</li> <li>個別の指導計画の作成・情報教育、視聴覚教材管理</li> </ul>	
評価の視点		評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の教育目標に基づいた教育活動を計画・実施できたか</li> <li>本校の特色に対応した教科会を実施できたか</li> <li>教育活動に関する情報発信ができたか</li> </ul>		(A) B C D A (B) C D A B (C) D
成果・課題		総合評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科会等で、学習指導の意味や意義について共通理解ができた。</li> <li>○三者懇談において保護者との連携を深めるため、懇談日数、時間を増やした。</li> <li>▲学校教育目標を具現化した指針を学校職員に提示することが不十分であった。</li> <li>▲ホームページにおいて教育活動の内容や、情報を発信することが不十分であった。</li> </ul>		A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動の計画を早期に行い、迅速な情報提供に努める。</li> <li>ホームページにおいて教育活動の内容や情報を定期的に発信することに努める。</li> <li>企業就労を目指すために必要な力を分析し、実態に即した指導体制を整える。</li> <li>地域と一体となった教育実践ができる環境を整える。</li> </ul>	

学校関係者評価 (令和2年2月27日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路懇談等の時間を増やしたことにより、担任と保護者間の連携がより図れるようになったことは有効なので継続してほしい。</li> <li>教育活動情報を定期的にホームページ等において発信することが学校と保護者や地域との連携に繋がると考える。</li> </ul>
-----------	--

